

大崎市  
男女共同参画に関する  
中学生の意識調査  
報告書



平成29年6月実施



# 大崎市男女共同参画に関する中学生の意識調査結果

## 1 調査の目的

男女共同参画社会の大切な担い手である市内の中学生を対象に、男女共同参画に関する意識の実態を明らかにし、今後の施策に反映するとともに、5年ごとに意識の経過観察を実施するための基礎資料とする。

併せて、調査結果は、第3次大崎市男女共同参画推進基本計画を策定するための資料とする。

## 2 調査方法など

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 調査名   | 大崎市男女共同参画に関する中学生の意識調査(以下、「H29調査」という。) |
| 調査対象  | 平成29年6月1日に大崎市立中学校11校に在籍する中学3年生        |
| 調査方法  | 中学校への直接配付・回収。自記入方式                    |
| 調査時期  | 平成29年6月13日～同年6月30日                    |
| 調査票回収 | 平成29年7月7日                             |
| 実施主体  | 大崎市                                   |
| 調査分析等 | 大崎市まちづくり推進課、大崎市男女共同参画庁内推進委員会          |

## 3 調査項目

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| (1) あなたと家族について(属性)   | 問1～問4     |
| (2) 平等意識について         | 問5～問7     |
| (3) 学校生活について         | 問8～問8-1   |
| (4) 家庭生活について         | 問9～問10    |
| (5) 性別役割分担意識について     | 問11～問12-2 |
| (6) 将来について           | 問13～問14   |
| (7) 男女共同参画に関する用語について | 問15～問17   |

## 4 調査票回収状況

|         |        |
|---------|--------|
| 対象生徒数   | 1,152人 |
| 調査票回収枚数 | 1,087枚 |
| 回収率     | 94.4%  |

## 5 比較対象

調査結果の分析にあたり、H29調査結果の単独分析はもとより、平成24年5月に実施した「大崎市男女共同参画に関する中学生の意識調査」(以下、「H24調査」という。)との比較検討を行った。

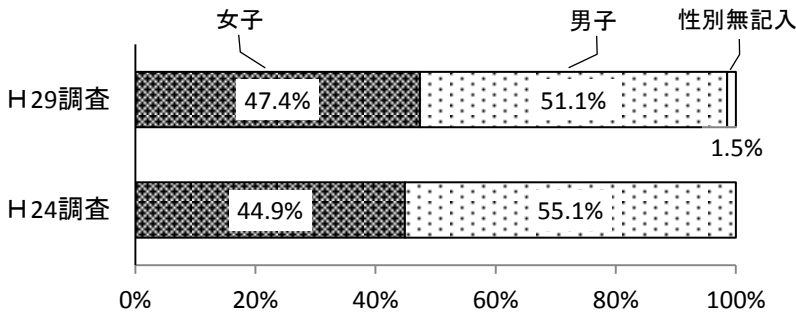
## 6 その他

- ・回答者の属性について、性別を無記入とした調査票があるため、全体の数値と女子・男子の数値の合計は一致しないものがある。
- ・H29調査、H24調査とも、選択肢の回答比率が0.0%のとき、比較分析に特に影響を及ぼさない場合は、グラフへの数値の表示を省略した。
- ・回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・記述式の設問については、11校からおおむね1回答ずつを主な回答として抽出して、原文のまま掲載した。設問によっては、回答者のなかった学校もある。

## 【あなたと家族について】

### 問1 あなたの性別はどちらですか。

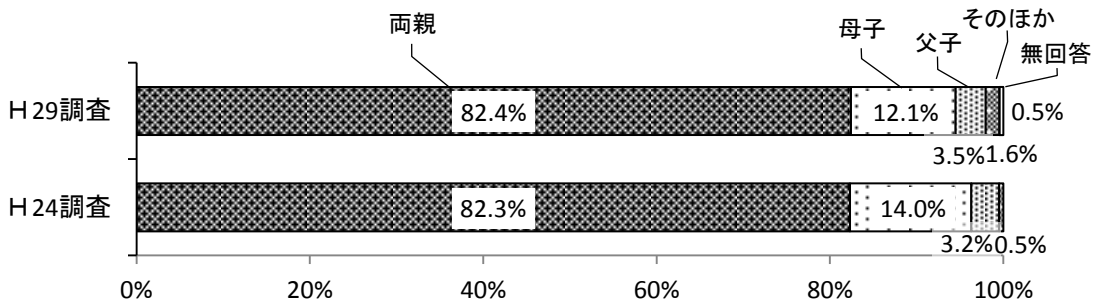
意識調査は全体で1,087人から回答があり、回収率は94.4%であった。性別の内訳は、女子47.4%、男子51.1%、性別の記入が無い調査票は1.5%であった。H24調査と比較して、生徒総数はほぼ同数だが、女子の割合が増えている。回収率は1.4ポイント低下した。



|       | H29調査 | H24調査 |
|-------|-------|-------|
| 生徒総数  | 1,152 | 1,153 |
| 回収調査票 | 1,087 | 1,105 |
| 女子    | 515   | 496   |
| 男子    | 556   | 609   |
| 性別無記入 | 16    | 0     |
| 回収率   | 94.4% | 95.8% |

### 問2 あなたの家族を教えてください。一緒に住んでいる人を全部選んでください。

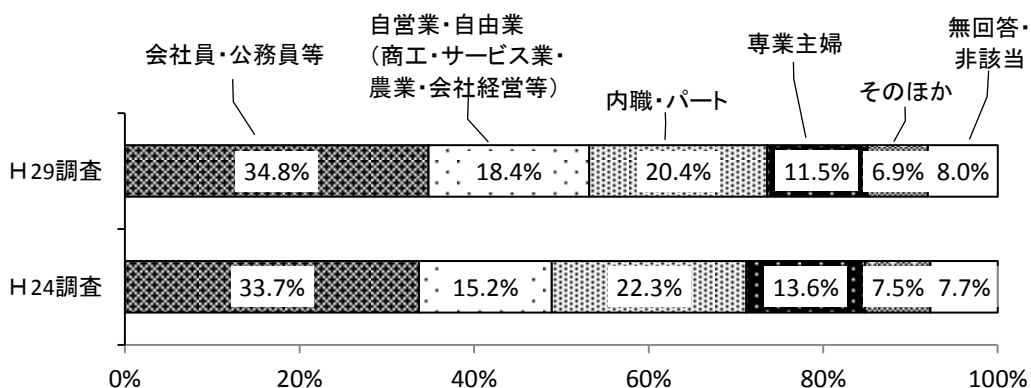
家族形態をみると、両親と一緒に住んでいる人が82.4%で最も多く、次いで母子家庭12.1%、父子家庭3.5%、そのほか1.6%の順となっており、H24調査とほぼ同じ割合となっている。



### 問3 また、家族の職業について、それぞれにあてはまるものを1つ選んでください。

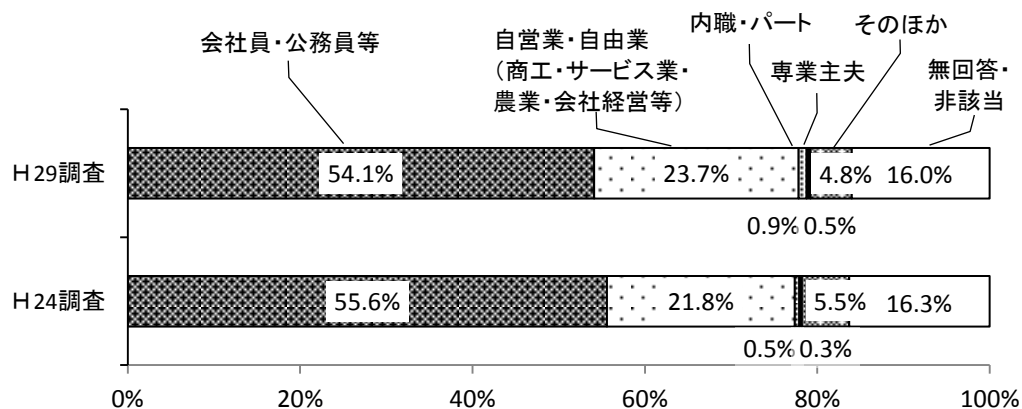
#### 【母親の職業】

母親の職業では、会社員・公務員等が34.8%で最も多く、次いで内職・パートが20.4%、自営業・自由業が18.4%、専業主婦が11.5%、そのほか6.9%の順となっている。H24調査と比較して、自営業・自由業が3.2ポイント増加したのに対して、内職・パートが1.9ポイント、専業主婦が2.1ポイント減少している。



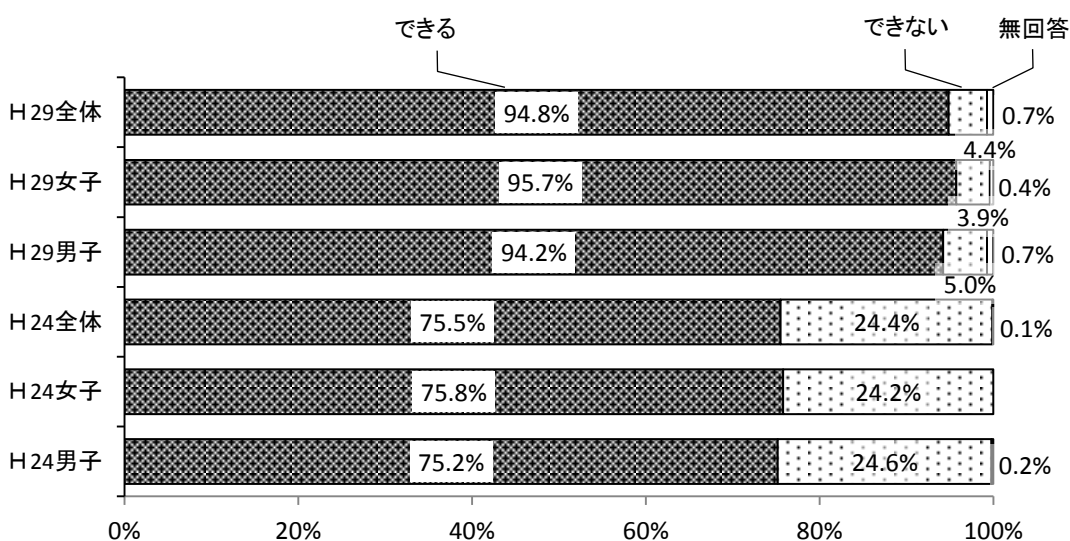
### 【父親の職業】

父親の職業では、会社員・公務員等が54.1%で最も多く、次いで自営業・自由業が23.7%、そのほか4.8%、内職・パートが0.9%、専業主夫が0.5%の順となっている。H24調査と比較して、会社員・公務員等が1.5ポイント減少し、自営業・自由業が1.9ポイント増加している。



### 問4 あなたの家では、自分でインターネットを使うことができますか。

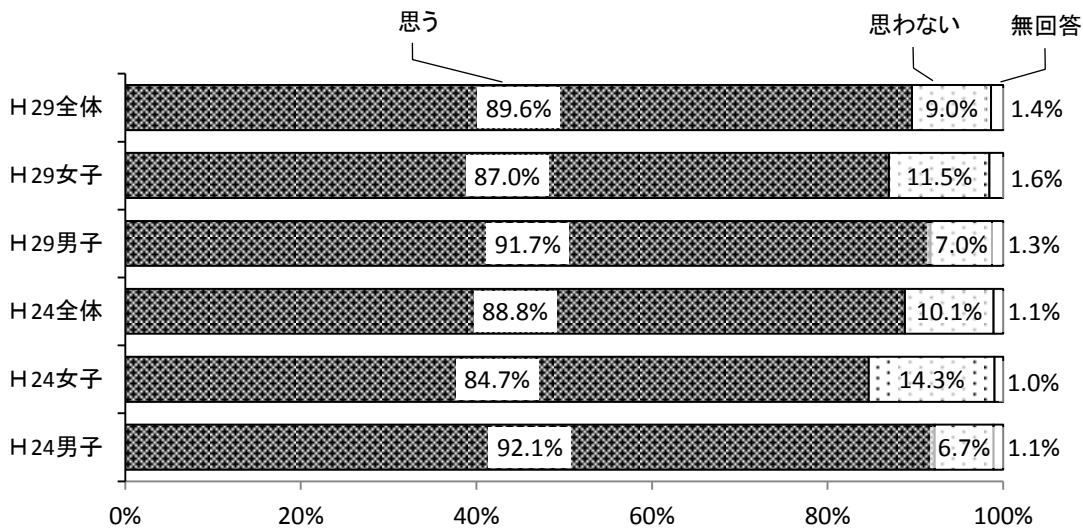
自宅でインターネット(パソコン・携帯電話)を使うことができるかを聞いたところ、94.8%の生徒が使用できると答えている。H24調査と比較して、男女とも約20ポイント増加しており、携帯電話の低年齢層への普及が進み、インターネット上の情報にアクセスできる生徒の割合が大幅に増えていることがわかる。



## 【平等意識について】

### 問5 あなたは、「家庭生活」の場で女性と男性は平等になっていると思いますか。

「家庭生活」の場で、男女平等になっていると思うかを聞いたところ、「思う」が89.6%、「思わない」が9.0%となっている。男女別にみると、「思う」の割合は女子がH24調査より2.3ポイント増加したものの、家庭生活を平等と思う割合は、H24調査と同様に女子よりも男子の方が多い。



### 問5-1 あなたは、どんなことに、そう感じますか。(問5で「2. 思わない」を選んだ人だけ)

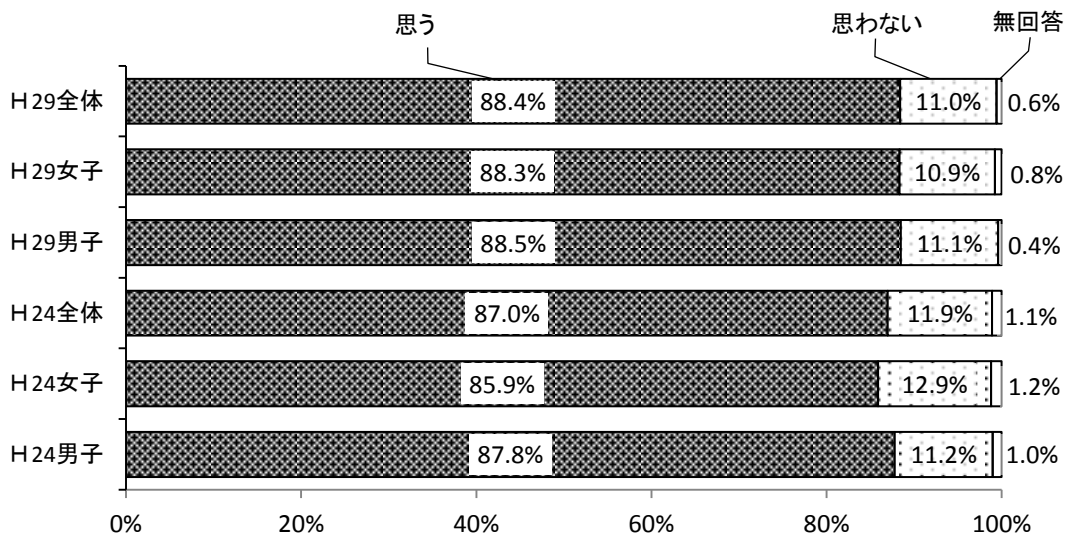
「家庭生活」の場で、男女平等になっているとは思わないと答えた女子(59人)と男子(39人)に、「どんなことにそう感じるか」を記述形式で回答してもらった。特に母親に家事負担が集中していること(42件)についての回答が目立っている。主な回答は以下のとおり。

- [女子] ○私の家では、女性…働く⇒家事をする(ご飯作り、洗たくなど、男性…働く⇒家事をしない(自分のしたいことをしている)。  
 ○パパがぜったいみたいになっているから。  
 ○父と母、祖母と祖父の会話やけんかを聞いていると、男女差別があるかと思ったりする。  
 ○今はお母さんだっただ働いているのに家事をするのはお母さんの役目みたくなっているから、それは平等じゃない。  
 ○男の人は仕事で疲れるのを言い訳して家事をしない。疲れてるのはみんな一緒なのに。  
 ○父は仕事をし、母も仕事をして、母は仕事が終わったら家事とかもしている。  
 ○女子が家事をやるみたいなのがあると思う。男子がやってもいいと思う。  
 ○「女だから、これはできない」とかの発言。  
 ○父も母も仕事をしているのに、母の方が家事をたくさんこなしている。  
 ○母と私が家の仕事を行っていて、父は基本的になにもしていない。それがあたりまえだという意識がある。

- [男子] ○男性は特に何にもやらないから。  
 ○母だけ家事をして父親はずっとスマホをいじってる。  
 ○祖父の絶対王政みたいな感じ。  
 ○「お姉ちゃんは女の子だからしょうがない」って言われたこと。  
 ○女性が男性より働いているように思う。  
 ○母は仕事でもずっと家事をしているが、祖母は忙しくなくても全く家事をしない。父は現在不在なので分からない。  
 ○男が生きにくい世の中になっている。  
 ○男性はあまり家庭で働かないわりに、女性や子供に指示できたりするのは平等じゃないと思う。  
 ○母が祖父にひどい目に合っている。

## 問6 あなたは、「学校生活」の場で女性と男性は平等になっていると思いますか。

「学校生活」の場で、男女平等になっていると思うかを聞いたところ、「思う」が全体で88.4%となっており、性別による意識の差異はほとんどない。H24調査と比較すると、わずかではあるが平等と感じる割合は増加し、特に女子は2.4ポイント増加している。



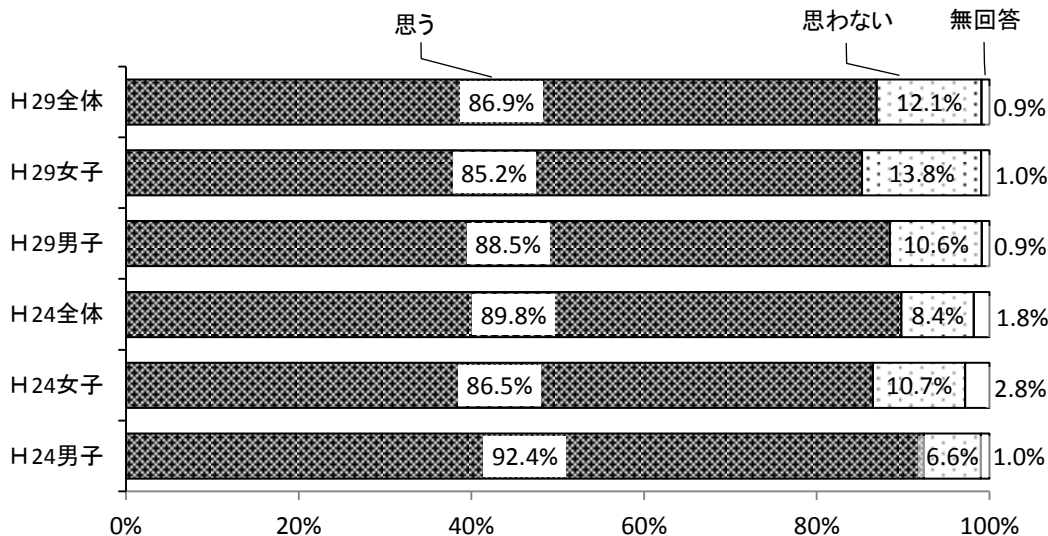
### 問6-1 あなたは、どんなことに、そう感じますか。(問6で「2. 思わない」を選んだ人だけ)

「学校生活」の場で、男女平等になっているとは思わないと答えた女子(56人)、男子(85人)、性別無記入(2人)に、「どんなことにそう感じるか」を記述形式で回答してもらった。教師の生徒指導の差異について(53件)が全体に目立ったほか、レディーファーストに対する考え(10件)、男女のプライバシーへの配慮差異について(6件)の記載も見受けられた。主な回答は以下のとおり。

- 〔女子〕
- 女子だけ、校則が多いし、注意されるところがたくさんある。
  - 先生の教で男子がレディーファーストをしてくれているから。
  - 普通の生活で「女子だから」「男子だから」と平等な考えではない。
  - 指導の差。
  - 男女で対応が違うときがある。男には強くおこったりする。
  - 女子には分からない所を教えるけど、男子は間違っている所を指摘するだけの先生がいるらしい。
  - 先生たちの男女に接する態度がちがう。
  - 女子にキツイ言葉を言わない。
  - 様々な仕事や役割でどちらかだけ対象になっているとき(その必要があるのはのぞく)。
- 〔男子〕
- 女子に厳しく怒らない。
  - さべつ的な先生がいる。
  - 女子に甘い先生が多数いる。
  - 女子だけあまりどなられないけど、男子だとちょっとしたことでおこられる。ひいきがうざい。
  - 男子と女子ケンカして、どちらもケガしたときは大体男子が悪物あつかい。
  - 男ばかり力仕事をさせられる。
  - 男が女に間違っ触ってしまっただけでセクハラとか言われてしまうから。女の方がえこひいきされると思う。
  - 男子には厳しく、女子には優しくしている。
  - 何かと女子の方がひいきされる。
  - レディーファーストなどと言われ何でも女が先。
  - 男子プールの更衣室がテント。
  - 学校のトイレが男子だけがくもりガラスじゃない。挙手のとき、女子の方が優先してあてられている。
- 〔無記入〕
- 生徒と生徒で女子は女子、男子は男子と別れている気がするから女子ならできるじゃなくて、男子でもできるようにしてほしい。

**問7 あなたは、「地域や社会全体」の場で女性と男性は平等になっていると思いますか。**

「地域や社会全体」の場で、男女平等になっていると思うか聞いたところ、「思う」が86.9%となっている。「思わない」割合は、女子13.8%、男子10.6%であり、女子のほうが多くなっている。また、H24調査と比較し、男女とも、男女平等になっていると思う割合は減少し、男子の減少割合が大きい。



**問7-1 あなたは、どんなことに、そう感じますか。(問7で「2. 思わない」を選んだ人だけ)**

「地域や社会全体」の場で、男女平等になっているとは思わないと答えた女子(71人)、男子(59人)、性別無記入(2人)に、「どんなことにそう感じるか」を記述形式で回答してもらった。H24調査と比較すると、ハラスメント・セクハラという言葉が見られ、男性が弱い立場になっているといった意見も見られるようになっている。一般的に、女子は女性が不利、男子は男性が不利と感じている。主な回答は以下のとおり。

- [女子]
- 昔は女性が家事をほとんどやって、今と変わらない所が少しある。
  - 学校生活は思うけど地域や社会全体はちがうと思ったから。
  - 女性が育児のために社会進出できていないこと。
  - 国会議員とかで女性は少ないから。
  - レディファーストとか、大和撫子のような心は大切だと思う。
  - 女性は力がないとみられることがあるから。
  - 会社だと同じくらい働いても女性の方が給料が低いから。
  - 主婦の人数が主夫よりもかなり多く、育児もほとんどが女性の仕事になっているように思えるから。
  - 社会にいるのは男性が多いと思う。
  - 集会などで主に女性が準備しているから。
  - テレビや新聞で男性の保育士の人へのクレームなどで。
  - 最近では女性が男性に対して極端すぎる被害者意識を持っていたり、ハラスメントなども正直そんなことで?というほどのことにまで及んできたりすると思う。女性が平等になってきたのはいいが、方向性が間違っているように感じる。
- [男子]
- 女社長が少ない。
  - なぜ女性専用車はあるのに男性専用車はないのか。
  - 職場での女性の管理職に就いている方が少ない。
  - 仕事では女性が不利なことが多いけど、それ以外は男性の方が不利だから。
  - 社会全体で女性優先を意識しすぎて、男性に対する対応が少なくなってきた。
  - 社会に出たら女性と男性は扱いが違くなる。
  - 男が触るとセクハラだが女が触ってもセクハラにならない。
  - 女子更衣室があるのに男子更衣室がない施設があったりする。
  - 「女性だから」といって、女性は甘やかされている。
  - 男性の立場がだんだん弱くなっていると思う。

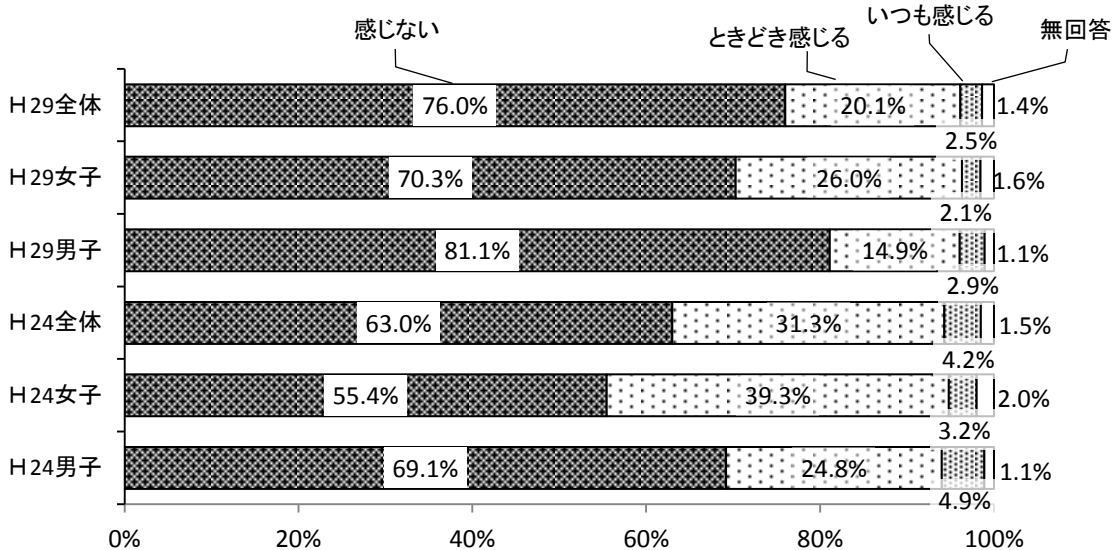
- [無記入] ○男性優先に見えるから。



## 【学校生活について】

### 問8 学校生活の中で、女子と男子では役割に違いがあると感じることがありますか。

学校生活の中で、女子と男子で役割の違いを感じることを聞いたところ、「感じない」が76.0%、「ときどき感じる」と「いつも感じる」を合わせると22.6%となっている。H24調査と比較して「感じない」の割合が男女とも増加し、全体で13.0ポイントも増えている。



#### 問8-1 あなたは、どんなことに、そう感じますか。

(問8で「2. ときどき感じる」または「3. いつも感じる」を選んだ人だけ)

学校生活の中で、女子と男子で役割の違いを「ときどき／いつも感じる」と答えた女子(145人)、男子(99人)、性別無記入(2人)に、「どんなことにそう感じるか」を記述形式で回答してもらった。「力仕事」の分担に関する回答が多いが、それを肯定的に捉えるものと否定的に捉えるもの、両方の意見があった。主な回答は以下のとおり。

〔女子〕 ○女子より男子のほうが進んで動いている。

○男子は女子より力があるので役割が違うのかと思う。

○男子は表に立ち、女子は裏で支えるような役割が多く見られる。しかし、男女で役割が違うのは当然のことだし、そのことについて不満はない。

○男子ばかりきつい仕事をしている。女子は楽。

○男子はざっくりした仕事、女子はこまごましたしごと。得意不得意関係なく性別でわりふりしている。

○男子は力仕事。だが、それで良いと思う。

○大体力仕事は男子、細かい仕事は女子がやること。

○男子は運動、女子は勉強とかそういうのが得意みたいになっている。

○重いものを持つときは男子が頼まれる。

○重いものを出したり片付けたりする時、いつも男子がやらされてると思う。

○様々な仕事や役割でどちらかだけ対象になっているとき(その必要があるのはのぞく)。

〔男子〕 ○女子の方が委員長などまとめ役が多いからと思う。

○行事、係などの活動。

○男子にばかり任せ過ぎだと思うことがある。

○男子が力仕事を任されるのが当たり前になってきている。

○男子が大変な仕事ばかりしているようなときがある。

○汚れる仕事は男子がやられる。

○男ばかり力仕事をさせられる。女子の手当をさせてもらえない。

○男子にはできないことか、女子にはできないことがあるから。

○それぞれ女子と男子では得意な事が違うので、こまかい作業する時は女子にまかせる等分担が必要。

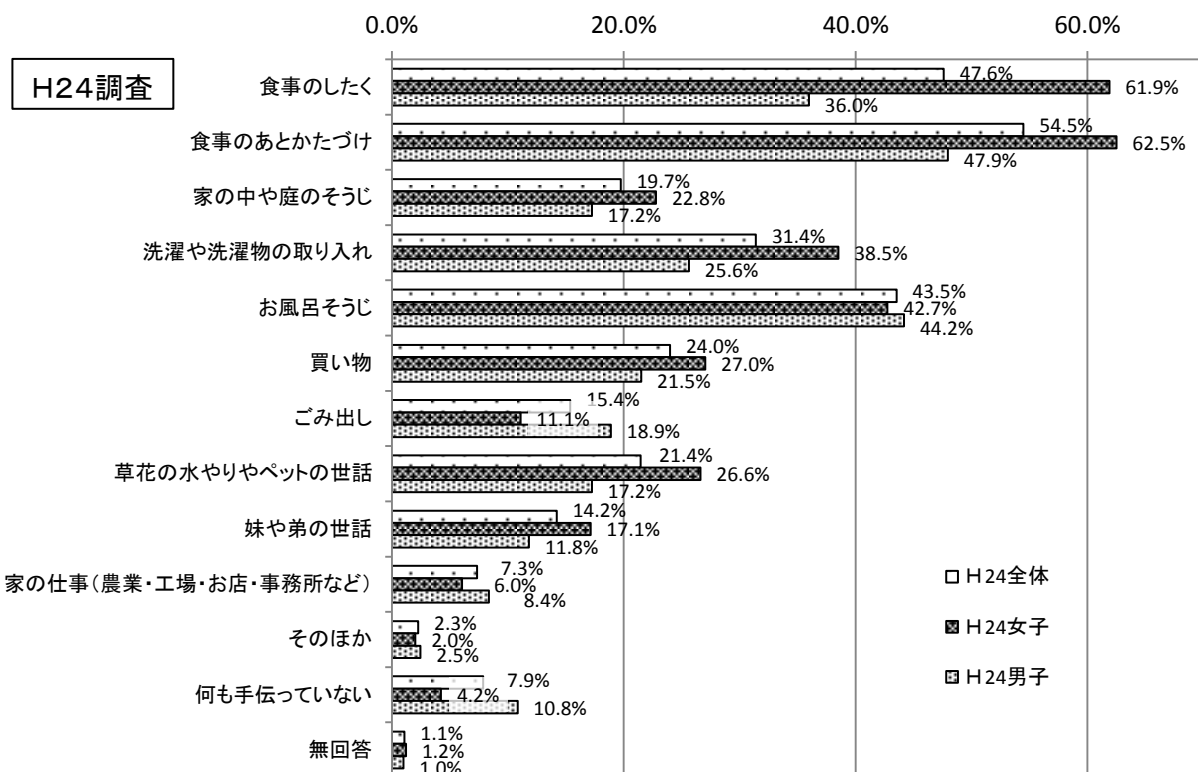
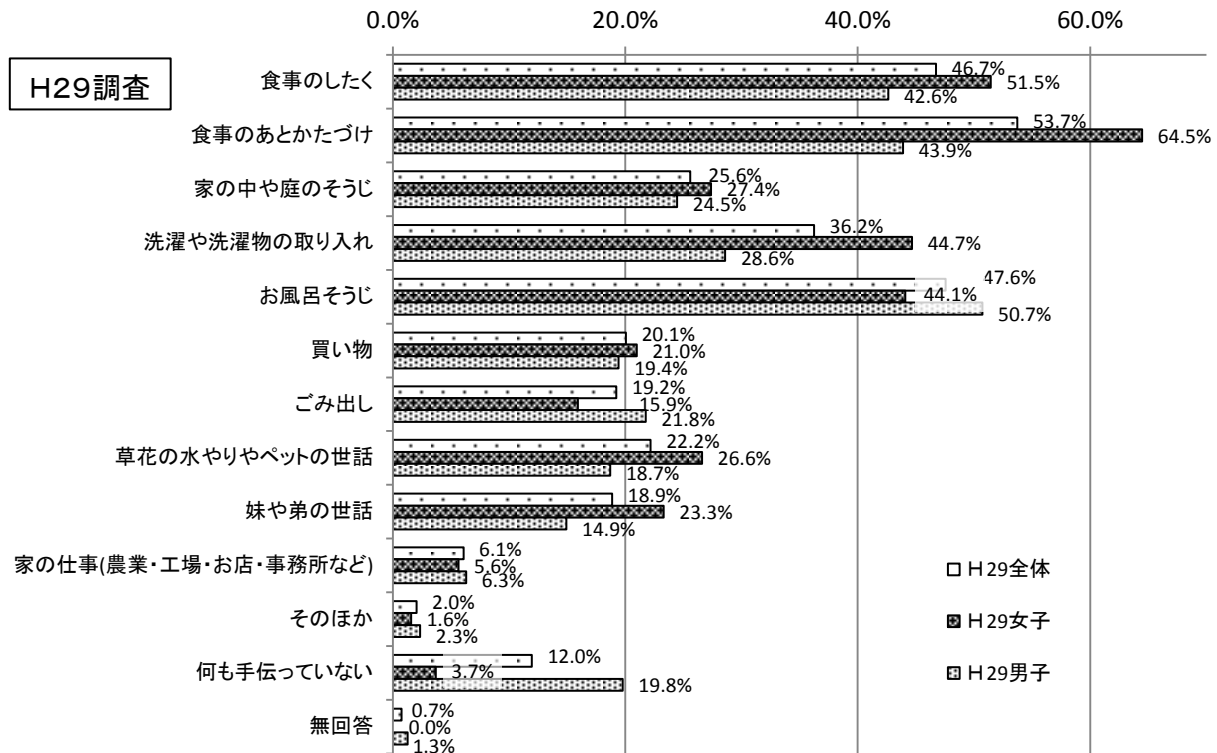
○重い荷物等は当然男子がもっている。

〔無記入〕 ○手先を使う仕事などの内容は女子、力仕事は男子みたいにさせるのがいやだ。

## 【家庭生活について】

### 問9 あなたは家庭で、どのようなお手伝いをしていますか。(複数回答)

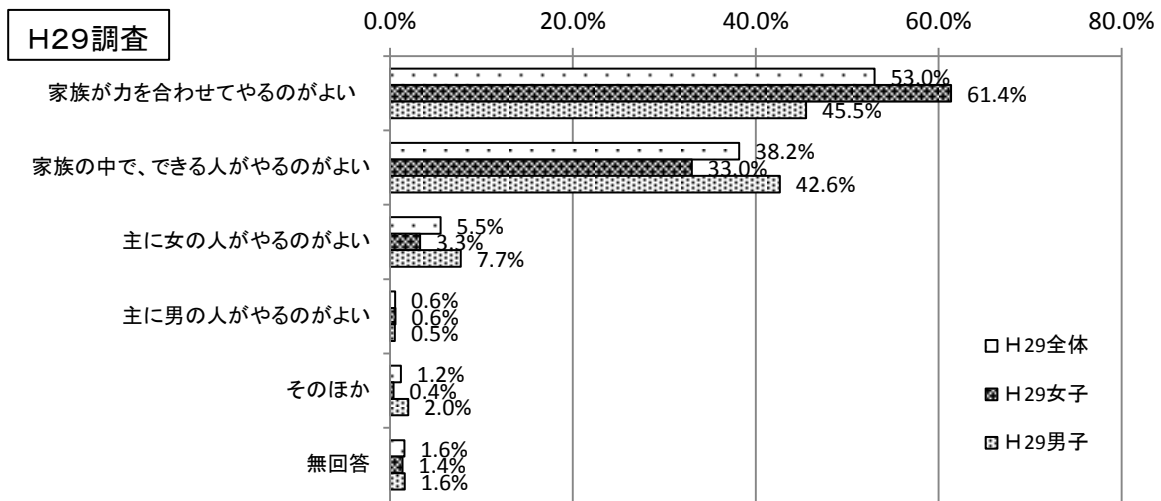
各家庭でどのようなお手伝いをしているかを聞いたところ、「食事のあとかたづけ」が53.7%で最も多く、次いで「お風呂そうじ」が47.6%、「食事のしたく」が46.7%となっていて、いずれも女子の割合が50%を超えている。男子では「お風呂そうじ」の割合が50%を超えている。一方、「何も手伝っていない」割合は、H24調査と比較して、女子では減っているが、男子では約2倍になっている。



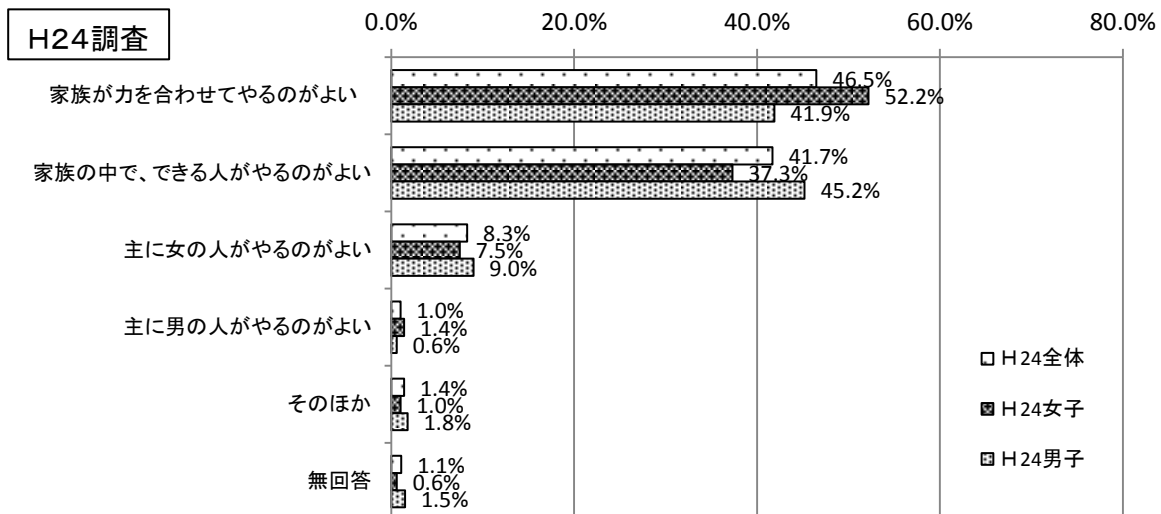
- H29調査「そのほか」の回答
- 〔女子〕 ・布団敷き ・カーテン閉め(2) ・甥っ子の世話
  - ・アイロンがけ ・犬の散歩 ・トイレ掃除
  - 〔男子〕 ・布団敷き(4) ・カーテン閉め ・部屋の防犯 ・仏壇
  - ・米とぎ ・洗車 ・システム関係

**問10 あなたは家庭で、食事のしたくやそうじ・洗濯のような家事は、だれがやると良いと思いますか。**

家事はだれがやると良いと思うかを聞いたところ、「家族が力を合わせてやるのがよい」が53.0%、「家族の中で、できる人がやるのがよい」が38.2%となり、合わせて9割以上を占める。H24調査と比較すると、「主に女の人／男の人がやるのがよい」の割合は減少しており、「家族が力を合わせてやるのがよい」の割合が増加している。



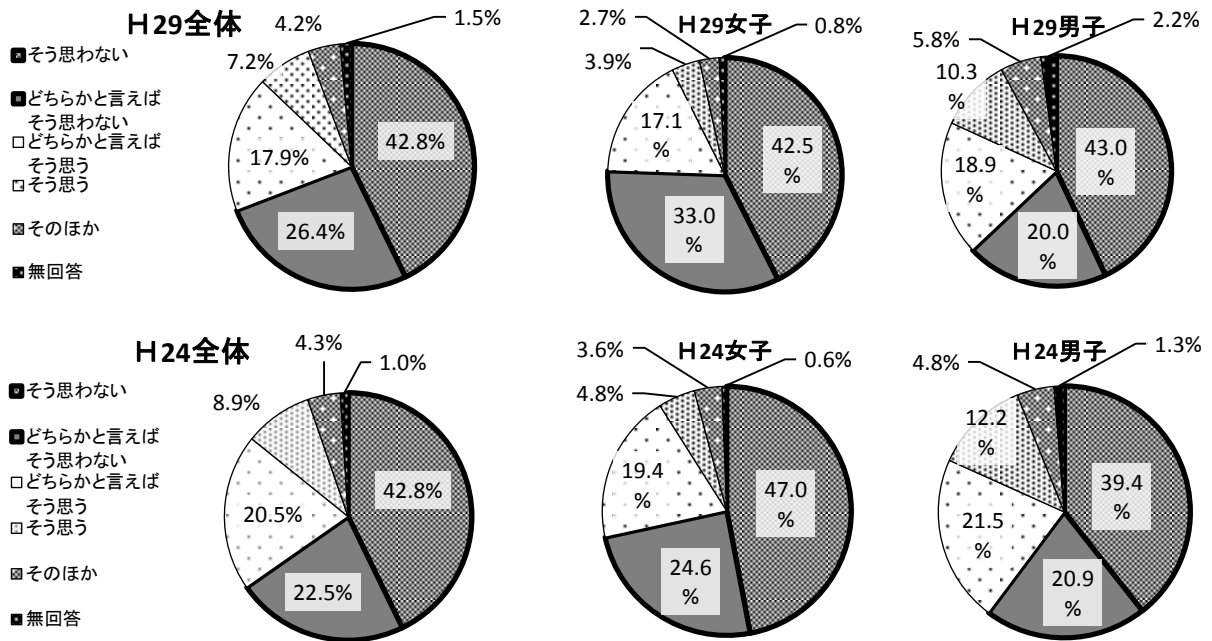
- H29調査「そのほか」の回答
- 〔女子〕 ・お母さん ・時間がある人
  - 〔男子〕 ・半々 ・家にいる時間が長い人 ・自分以外の人
  - ・誰でもいい。 ・自分のことは自分でする。



## 【性別役割分担意識について】

**問11 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。**

「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について聞いたところ、男女ともに「そう思わない」が最も多い。「どちらかと言えばそう思わない」を含めると、否定的な回答は全体の約7割を占め、男女別では、女子は75.5%、男子は63.0%となっている。H24調査と比較して、男女ともに、「男は仕事、女は家庭」との伝統的な役割分担には、否定的な回答割合が増加している。

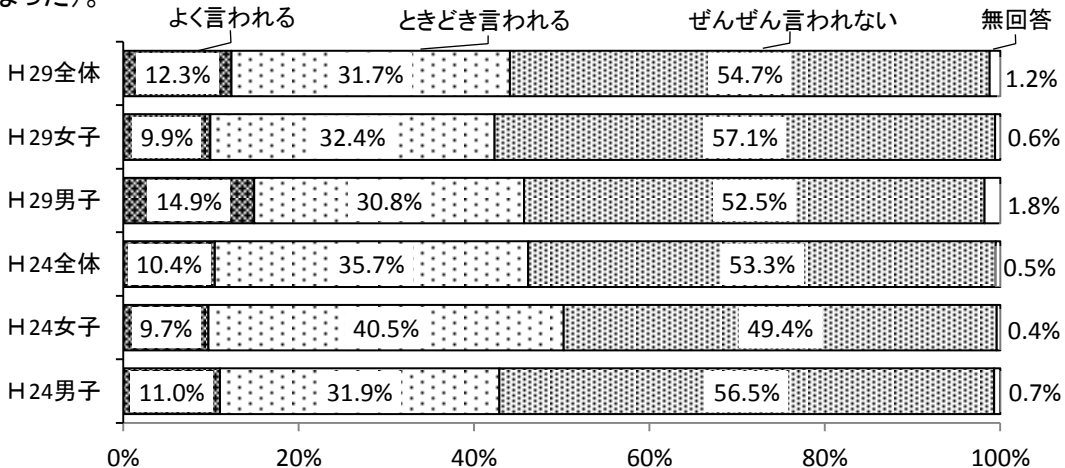


H29調査「そのほか」の主な回答

|        |                                                   |
|--------|---------------------------------------------------|
| 【男女とも】 | 「どちらでもいいと思う」という回答がほとんどであった。                       |
| 【女子】   | ・それぞれが話し合い決めることであり、全てこの考え方であるのかどうかと思う。 ・時代遅れだと思う。 |
| 【男子】   | ・その家庭によると思う。 ・古いと思う。                              |

**問12 あなたは家庭や学校または地域などで、大人の人から「女だから…、男だから…」や「女のくせに…、男のくせに…」のように言われることがありますか。**

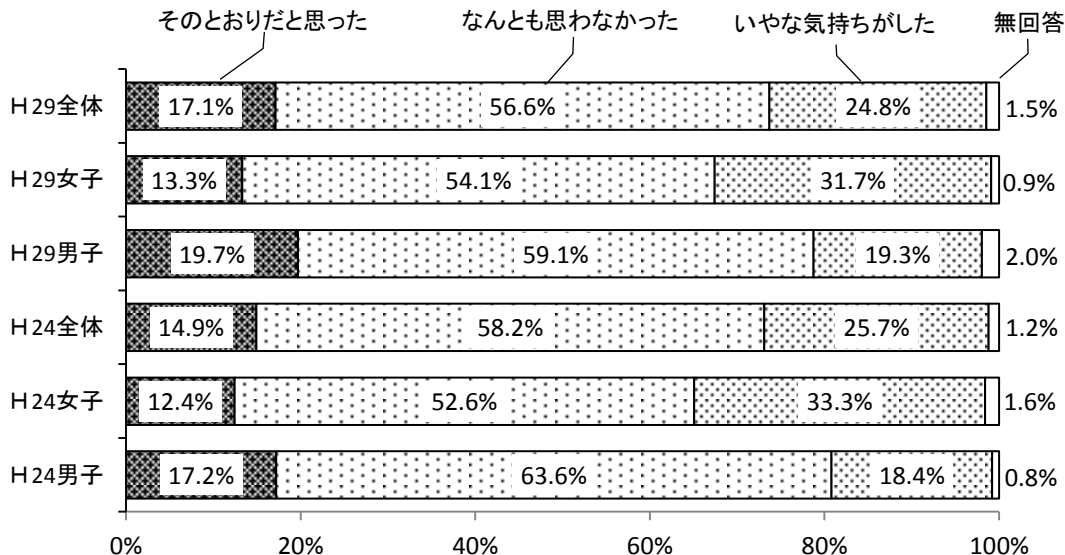
大人の人から「女だから…、男だから…」などと言われることがあるかを聞いたところ、「よく言われる」と「ときどき言われる」を合わせると、女子が42.3%で、男子は45.7%となっている。H24調査と比較すると、女子の割合が7.9ポイント減少した(言われなくなった)のに対し、男子は2.8ポイント増加している(言われるようになった)。



### 問12-1 あなたは、そう言われたとき、どう思いましたか。

(問12で「1. よく言われる」または「2. ときどき言われる」を選んだ人だけ)

大人の人から「女だから…、男だから…」などと言われることがあると答えた女子(218人)と男子(254人)のうち、「いやな気持ちになった」と答えたのは、男子で19.3%なのに対し、女子では31.7%となっている。H24調査とほぼ同様の結果となった。



### 問12-2 あなたは、どのような言われ方なら、いやな気持ちにならなかったと思いますか。

(問12-1で「3. いやな気持ちになった」を選んだ人だけ)

大人の人から「女だから…、男だから…」などと言われて「いやな気持ちになった」と答えた女子(69人)と男子(49人)に、「どのような言われ方なら、いやな気持ちにならなかったか」を記述形式で回答してもらった。言い方を変えてほしい(38件)との回答よりも、そもそも言われたくない(55件)との回答が多かった。主な回答は以下のとおり。

- 〔女子〕
- そういうことを言わなくていい。他と比べるのではなく、個人を見てほしい。
  - そもそも男だの女だの関係ない。男女共同で生きていかないとならない。
  - 女だから、を使わない言い方。
  - まず言わないのが一番良い、またはその考えを無くした方が良い。
  - どんな言われ方でもいやだと思う。言わないでほしい。
  - 性別関係なく、普通に悪いところだけを指摘してほしい。
  - 女だからではなく、女でもいいんだというような言い方の方がいやな気持ちにならない。
  - 女子は器用だから～などほめてほしい。
  - 「出来て当たり前」のような言い方ではない方がよい。
  - 「女子の方が器用だし、きちょう面だから女子にやってほしいな」となど。
  - そもそも男だから、女だからというふうに言われるのが嫌だ。
  - 男なら女ならじゃなくて、男の子はこういうことが得意かもしれないからこっちみたいな言い方ならいい。
- 〔男子〕
- 性別を言わず用件だけで注意をしてほしかった。
  - もうちょっとがんばれ。
  - どんな表現でも差別的な言葉だったら嫌な気持ちになる。
  - レディファーストだから良いでしょ？
  - 「男の子はすごいから」とか。
  - 言われなくても一番だと思うのが普通です。
  - 女の人のために～だったらいい。
  - 男女、他人と比べないでほしい。
  - どんなというか、男女差別がおこっているのでもいやになる。
  - もう少し、～のせにとかをなくして言ってほしいと思います。
  - 意味がいつしよなら気持ちは変わらない。

## 【将来について】

### 問13 あなたは、将来どんな仕事や職業につきたいと思いますか。

将来どのような仕事や職業につきたいと思うかを、自由記述の形式で聞いたところ、具体的な職業名・分野の記載は約5割にとどまり、「社会の役に立つ仕事」「人のためになる仕事」など、理想や希望のイメージを記載する例も多く見られた。全体をおおまかに分類し集計すると、次の表ようになる。

| 今回調査 | 具体的な職業・分野を記載 |            |        |              |      |          |        |         |       |               |         |        |        |                 |       |         |      |       |
|------|--------------|------------|--------|--------------|------|----------|--------|---------|-------|---------------|---------|--------|--------|-----------------|-------|---------|------|-------|
|      | 公務員          | 機械・製造・工業関係 | 教師・保育士 | 芸能・スポーツ・音楽関係 | 医療関係 | ファッション関係 | 美容・会社員 | 建築・土木関係 | 動植物関係 | IT・パソコン・ゲーム関係 | 料理・飲食関係 | 保健福祉関係 | イラスト関係 | 美術・警察官・消防士・自衛隊等 | 農林水産業 | 英語・国際関係 | その他  | 小計    |
| 女子   | 27人          | 2人         | 48人    | 20人          | 45人  | 31人      | 9人     | 7人      | 20人   | 4人            | 15人     | 9人     | 13人    | 4人              | 2人    | 7人      | 25人  | 288人  |
| 男子   | 49人          | 58人        | 13人    | 37人          | 9人   | 5人       | 19人    | 20人     | 6人    | 20人           | 5人      | 4人     | 0人     | 7人              | 7人    | 2人      | 27人  | 288人  |
| 無記入  | 2人           | 2人         | 0人     | 1人           | 1人   | 1人       | 1人     | 2人      | 0人    | 0人            | 0人      | 1人     | 0人     | 1人              | 0人    | 0人      | 0人   | 12人   |
| 全体   | 78人          | 62人        | 61人    | 58人          | 55人  | 37人      | 29人    | 29人     | 26人   | 24人           | 20人     | 14人    | 13人    | 12人             | 9人    | 9人      | 52人  | 588人  |
| 女子   | 5.2%         | 0.4%       | 9.3%   | 3.9%         | 8.7% | 6.0%     | 1.7%   | 1.4%    | 3.9%  | 0.8%          | 2.9%    | 1.7%   | 2.5%   | 0.8%            | 0.4%  | 1.4%    | 4.9% | 55.9% |
| 男子   | 8.8%         | 10.4%      | 2.3%   | 6.7%         | 1.6% | 0.9%     | 3.4%   | 3.6%    | 1.1%  | 3.6%          | 0.9%    | 0.7%   | 0.0%   | 1.3%            | 1.3%  | 0.4%    | 4.9% | 51.8% |
| 無記入  | 12.5%        | 12.5%      | 0.0%   | 6.3%         | 6.3% | 6.3%     | 6.3%   | 12.5%   | 0.0%  | 0.0%          | 0.0%    | 6.3%   | 0.0%   | 6.3%            | 0.0%  | 0.0%    | 0.0% | 75.0% |
| 全体   | 7.2%         | 5.7%       | 5.6%   | 5.3%         | 5.1% | 3.4%     | 2.7%   | 2.7%    | 2.4%  | 2.2%          | 1.8%    | 1.3%   | 1.2%   | 1.1%            | 0.8%  | 0.8%    | 4.8% | 54.1% |

| 抽象的なイメージを記載     |                  |         |       |       |            |      |      |       |       | わからない・特にない | 無記入    | 合計 |
|-----------------|------------------|---------|-------|-------|------------|------|------|-------|-------|------------|--------|----|
| 社会の役に立つ・人のためになる | やりがいのある・趣味特技・楽しい | 収入の安定した | 収入の高い | 人と関わる | 続けられる・安定した | 跡継ぎ  | その他  | 小計    |       |            |        |    |
| 40人             | 25人              | 13人     | 7人    | 13人   | 7人         | 3人   | 11人  | 119人  | 51人   | 57人        | 515人   |    |
| 22人             | 26人              | 12人     | 13人   | 2人    | 5人         | 6人   | 14人  | 100人  | 104人  | 64人        | 556人   |    |
| 1人              | 0人               | 0人      | 0人    | 0人    | 0人         | 0人   | 0人   | 1人    | 2人    | 1人         | 16人    |    |
| 63人             | 51人              | 25人     | 20人   | 15人   | 12人        | 9人   | 25人  | 220人  | 157人  | 122人       | 1,087人 |    |
| 7.8%            | 4.9%             | 2.5%    | 1.4%  | 2.5%  | 1.4%       | 0.6% | 2.1% | 23.1% | 9.9%  | 11.1%      | 100.0% |    |
| 4.0%            | 4.7%             | 2.2%    | 2.3%  | 0.4%  | 0.9%       | 1.1% | 2.5% | 18.0% | 18.7% | 11.5%      | 100.0% |    |
| 6.3%            | 0.0%             | 0.0%    | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%       | 0.0% | 0.0% | 6.3%  | 12.5% | 6.3%       | 100.0% |    |
| 5.8%            | 4.7%             | 2.3%    | 1.8%  | 1.4%  | 1.1%       | 0.8% | 2.3% | 20.2% | 14.4% | 11.2%      | 100.0% |    |

上表の上位5番目までの回答内容を、男女別にH24調査と比較すると、次のようになる。

〔女子〕

|    | H29調査     |      | H24調査       |       |
|----|-----------|------|-------------|-------|
| 1位 | 教師・保育士    | 9.3% | 教師・保育士      | 13.5% |
| 2位 | 医療関係      | 8.7% | 医療関係        | 8.5%  |
| 3位 | 社会・人の役に立つ | 7.8% | スポーツ・芸能・音楽  | 7.9%  |
| 4位 | 美容・ファッション | 6.0% | 飲食関係        | 5.0%  |
| 5位 | 公務員       | 5.2% | 美容関係        | 4.6%  |
|    |           |      | 安定した仕事(収入面) | 4.6%  |

〔男子〕

|    | H29調査         |       | H24調査       |       |
|----|---------------|-------|-------------|-------|
| 1位 | 機械・製造・工業関係    | 10.4% | 公務員         | 11.0% |
| 2位 | 公務員           | 8.8%  | 会社員         | 7.9%  |
| 3位 | スポーツ・芸能・音楽    | 6.7%  | スポーツ・芸能・音楽  | 7.7%  |
| 4位 | やりがい・趣味特技・楽しい | 4.7%  | 安定した仕事(収入面) | 6.1%  |
| 5位 | 社会・人の役に立つ     | 4.6%  | 社会の役に立つ仕事   | 4.6%  |



なお、「わからない」「特にない」「決めていない」などの記載も目立ち、回答欄が空欄で提出されたものを合わせると、全体のおよそ4分の1を占める。この結果は、職業が「夢」から自分の身近な問題になり悩み始めている、まだ遠い将来のことだから考えたくない、など思春期特有のさまざまな思いを反映していると考えられる。H24調査と単純比較をすると、この割合は男女とも増加していて、特に男子の方が多くなっている。

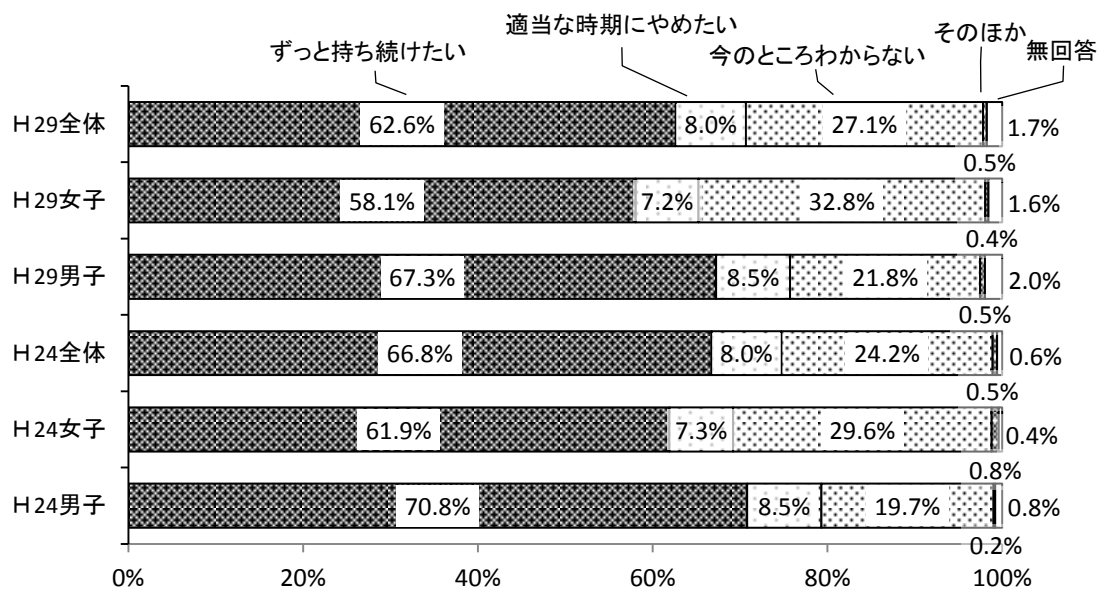
| 〔女子〕 | H29調査             |      | H24調査 |      |
|------|-------------------|------|-------|------|
|      | わからない、決めていない、特にない | 9.9% | わからない | 7.9% |
| 無記入  | 11.1%             | 無記入  | 12.3% |      |
| 合計   | 21.0%             | 合計   | 20.2% |      |

| 〔男子〕 | H29調査             |       | H24調査 |       |
|------|-------------------|-------|-------|-------|
|      | わからない、決めていない、特にない | 18.7% | わからない | 13.5% |
| 無記入  | 11.5%             | 無記入   | 11.5% |       |
| 合計   | 30.2%             | 合計    | 25.0% |       |

**問14 あなたは将来、仕事や職業をずっと持ち続けたいと思いますか。**

女子の58.1%、男子の67.3%が、仕事や職業を「ずっと持ち続けたい」と回答し、全体の62.6%を占めているものの、H24調査より4.2ポイント減少している。一方、「今のところわからない」と回答した割合は、男女ともH24調査と比較して2~3ポイント増えている。

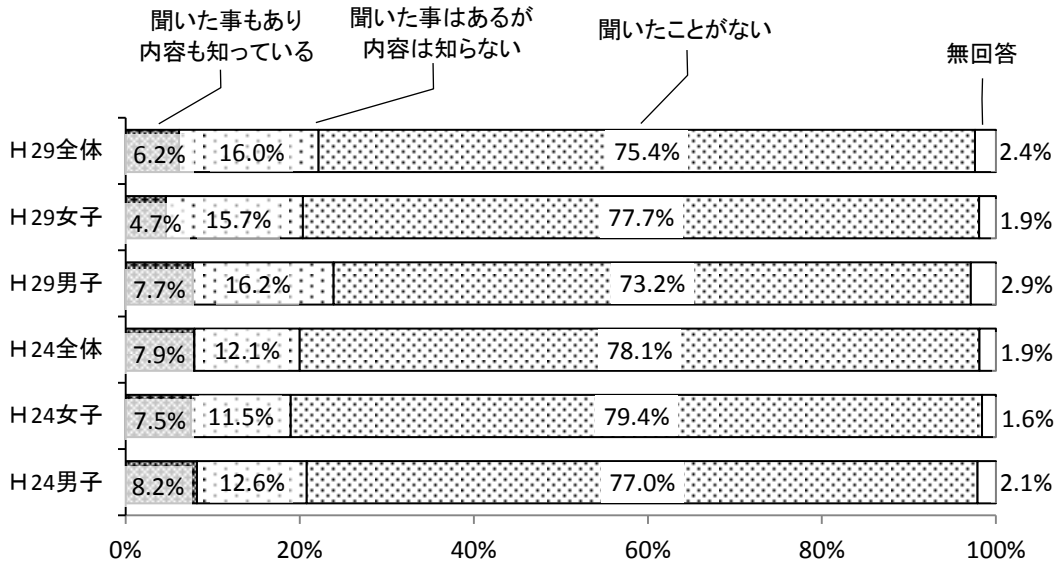


- H29調査「そのほか」の回答
- 〔女子〕
    - ・子育ての時だけやめたい。終わったらまた始めたい。
    - ・結婚したらやめたい。
  - 〔男子〕
    - ・大金がはいればやめる。
    - ・体が動かなくなったらやめたい。

## 【男女共同参画に関する用語について】

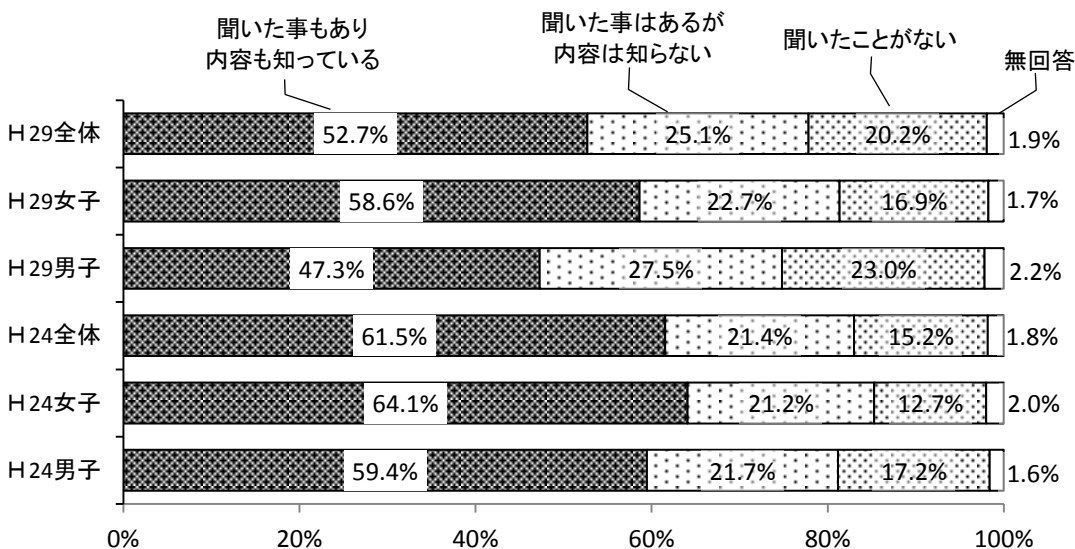
### 問15 あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがありますか。

全体で、「男女共同参画社会」という言葉を「聞いたこともあり内容も知っている」が6.2%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が16.0%、「聞いたことがない」が75.4%となっている。H24調査と比較して、「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがある割合は、2.2ポイント増加しているものの、内容を知っている割合は、1.7ポイント減少している。



### 問16 あなたは、「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉を知っていますか。

全体で、「DV(ドメスティック・バイオレンス)」という言葉を知っているが「聞いたこともあり内容も知っている」が52.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が25.1%、「聞いたことがない」が20.2%となっている。H24調査と比較して、「DV」という言葉を聞いたことがある割合は5.1ポイント減少しており、内容を知っている割合も、8.8ポイント減少している。特に男子では、およそ4人に1人が「聞いたことがない」と回答している。





**問17 あなたは、「セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)」という言葉を知っていますか。**

全体で、「セクシュアル・ハラスメント」という言葉を「聞いたこともあり内容も知っている」が66.9%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が26.5%、「聞いたことがない」が4.7%となっている。H24調査と比較して、「セクシュアル・ハラスメント」という言葉を聞いたことがある割合は、1.0ポイントの減少にとどまっているが、内容を知っている割合は、10.2ポイントも減少している。

